



BRAILLE CODE - 枕草子(第一段), 2020 ©Gen Miyamura



CzH4, 2019 ©Ayako Someya

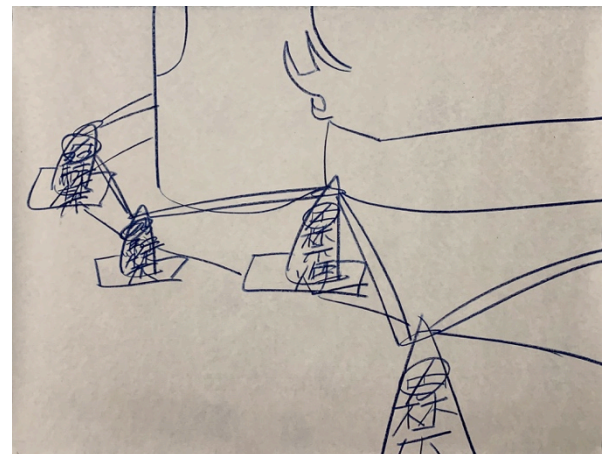
「現代アート書道の世界 2【記号と今】」

The World of Contemporary Calligraphic Art 2 - "Symbols and the Times"

Ayako Someya
小林真由香
Haru Yamaguchi
日野公彦
宮村弦
矢野童観
山本尚志

会期：2020年2月8日(土) - 3月7日(土)
会場：Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 4-32-6 パークグレース新宿#206
営業時間:12:00-19:00 定休日:日、月、祝日

オープニングレセプション：2月8日(土) 18:00-20:00



Cones - No Parking - No Smoking - in the morning, 2019 ©Kimihiko Hino, Courtesy of Yumiko Chiba Associates

2020年2月8日(土)より、Yumiko Chiba Associates viewing room shinjukuでは、書家 Ayako Someya、小林真由香、Haru Yamaguchi、日野公彦、宮村弦、矢野童観、山本尚志の展覧会、「現代アート書道の世界2【記号と今】」を開催いたします。

2017年に行われたグループ展「現代アート書道の世界」から早くも3年が経ち、その間に我々書道家たちは、ささやかながら注目を集め始め、国内各地のコマーシャルギャラリーからデビューを果たす人間が十数人も出るという飛躍を遂げました。

その中で何度も話題として上がったのが、われわれ現代の書道家は「一体なぜ、何のために文字を書いているのか」ということでした。

西洋近代絵画の歴史の中で、文字を作品の中に登場させた作家は何人かいます。昨年日本で大回顧展のあったジャン・ミシェル・バスキアもその一人でしょう。まだ黒人差別の根強かった80年代のニューヨークで書かれたそれらの文字群は、彼の叫び声そのものを表していました。

その「叫ばずにはおれない心の動きを、文字で書いて表すこと」は、無論書道の世界でも古来より行われていたことです。例えば中国の顔真卿は、安祿山の戦いで親族を失った悲しみをその手紙「祭姪文稿」の震え昂る文字群に表しました。



黒人差別問題や戦乱での悲痛な声ならぬ声。彼らには彼らの文字を書く理由があり、それが腕を伝ってほとばしりとして、それぞれに表出したわけです。

現在の我々を振り返って、さて、彼らに匹敵するような、そんな大きな理由があるのかどうか。しかしながら、ここにいる現代の書道家たちは、やはりそれぞれに何かを抱えて生きているし、それぞれの異なる問題をこうして文字記号を通じ、表象させるに至っています。それが我々の考える「書道」であるのだと。

例えば宮村弦は、点字を題材とすることで、そこに宿る文字としての美や、点字の文化構築の在り方に注目し、Ayako Someya は、万物を表す元素記号を可視化した、その構造図一つ一つを文字に見立て、書道独特の滲みの中に浮かび上がらせる。小林真由香は禅の思想を現代語訳化するように作品として重厚な筆致で再構築し、日野公彦は日常の通勤路という狭い領域から見る世界のおかしみを軽い筆触で表した。矢野童観は、世の中に蔓延る上下関係のアンバランスさを、文字の大小やデフォルメを通じて揶揄し、Haru Yamaguchi は墨の滴りを重力に抗えない人間の矮小さと考えた。私、山本尚志は、ソシユール言語学以来の「モノと文字」との関係性を、「モノにモノの名前を書くこと」で、捉え直す試みを続けている。

このように、ささやかながら我々一人一人の「記号と今」が確かにここにあり、日本独自の芸術、「書道」として間違いなく息づいているのです。

山本尚志

(現代アート書道の世界2【記号と今】参加アーティスト兼本展キュレーター)

■アーティストプロフィール

Ayako Someya

1981年 東京都に生まれる

主な展覧会

- 2019年 「FIND YOUR ART FOR CHRISTMAS 2019 ～大切な人に贈るアート～」(MARUEIDO JAPAN、東京)
「ART SHODO NEXT17」(三鷹市芸術文化センター、東京) 特別出品
「ART SHODO FESTA」(三鷹市芸術文化センター、東京)
「ART SHODO AWARD」(O美術館、東京) AWARD 受賞
「現代の書 ART SHODO 3人軌跡」(Gallery NAO MASAKI、愛知)
- 2018年 「ART SHODO NOW-書道の新たな展開-」(ギャラリーNOW、富山)
「ART SHODO TOKYO AUTUMN 2018」(三鷹市芸術文化センター、東京)公式ポスターに選出
「ART SHODO TOKYO SPRING 2018」(三鷹市芸術文化センター、東京)
- 2015年 「ZERO ART Japanese Contemporary Art Exhibition」(hpgrp GALLERY NEW YORK、ニューヨーク)
- 2014年 「ZERO ART Japanese Artist Group Exhibition」(hpgrp GALLERY NEW YORK、ニューヨーク)
- 2013年 個展「the wall」(GARDEN Tokyo、東京)
- 2012年 グループ展 (hpgrp GALLERY NEW YORK、ニューヨーク)

小林真由香 Mayuka Kobayashi

1975年 愛媛県に生まれる

主な展覧会

- 2019年 「第9回 天作会-井上有一に捧ぐ書の解放展-」(三鷹市芸術文化センター、東京)
「OSAKA SHODO SHOW」(ORGANIC SPACE、大阪)
「ART SHODO FESTA」(三鷹市芸術文化センター、東京)
「ART SHODO AWARD」(O美術館、東京)
- 2018年 「日台湾書法交流展 2018」(松宮書法館、滋賀)
「ART SHODO TOKYO AUTUMN 2018」(三鷹市芸術文化センター、東京)
「ART SHODO TOKYO SPRING 2018」(三鷹市芸術文化センター、東京)
- 2014年 「Looking for the little bird -Yokoを探しに-」(GALLERY 北野坂、神戸、兵庫)



2008年～ 現在 萱ゼミ書展「BEER」(奈良県文化会館、奈良/イロリムラ、大阪)
2005年 個展「日々のカケラ」(ギャラリー呑吐樋、愛媛)
1997年 小畑秀嗣・小林真由香 2人展「裸心」(ギャラリー白鳥、大阪)

Haru Yamaguchi

1996年 大学卒業
在学中より西橋香峰氏に師事、書壇在籍

2015年 西橋香峰氏永眠、書壇脱退

主な展覧会

2019年 「第9回 天作会-井上有一に捧ぐ書の解放展-」(三鷹市芸術文化センター、東京)
「OSAKA SHODO SHOW」(代表)(ORGANIC SPACE、大阪)
「ART SHODO FESTA」(三鷹市芸術文化センター、東京)
「ART SHODO AWARD」(O美術館、東京)

2018年 「ART SHODO NOW -書道の新たな展開-」(ギャラリーNOW、富山)
「ART SHODO TOKYO AUTUMN 2018」(三鷹市芸術文化センター、東京)
「OSAKA SHODO SHOW」(初代代)(ORGANIC SPACE、大阪)
「ART SHODO TOKYO SPRING 2018」(三鷹市芸術文化センター、東京)

日野公彦 Kimihiko Hino

1975年 北海道に生まれる、東京在住

主な展覧会

2019年 「第9回 天作会-井上有一に捧ぐ書の解放展-」(三鷹市芸術文化センター、東京)
日野公彦 & 山本尚志 2人展「ニューフレンズ」(ギャラリーG、広島)
「ART SHODO FESTA 2019」(三鷹市芸術文化センター、東京)

2018年 個展「Feel It (Don't Fight It)」(三鷹市芸術文化センター、東京)
個展「Ru」(三鷹市芸術文化センター、東京)
「ART SHODO TOKYO AUTUMN 2018」(三鷹市芸術文化センター、東京)
2人展「Ayako Someya & Kimihiko Hino works」(三鷹市芸術文化センター、東京)
「ART SHODO TOKYO SPRING 2018」(三鷹市芸術文化センター、東京)

2017年 個展「Jesus Feeds the Five Thousand」(三鷹市芸術文化センター、東京)
「Ten Ten 2017 in 3331アーツ千代田 線のゆくえ」(3331アーツ千代田、東京)
「第8回 天作会-井上有一に捧ぐ書の解放展-」(三鷹市芸術文化センター、東京)
「書の未来展」(伊藤忠アートスクエア、青山、東京)

2016年 「Ten Ten 2016 in 横浜赤レンガ倉庫-線-55のスタイル」(赤レンガ倉庫、横浜、神奈川)

2015年 「Ten Ten 2015 in 鎌倉 -文字の向こうへ-」(鎌倉美術館、鎌倉、神奈川)
「第7回 天作会-井上有一に捧ぐ書の解放展-」(三鷹市芸術文化センター、東京)

2013年 「第6回 天作会-井上有一に捧ぐ書の解放展-」(三鷹市芸術文化センター、東京)
「横浜赤レンガ倉庫2013 -Sho is it!」(赤レンガ倉庫、横浜、神奈川)

2012年 「横浜赤レンガ倉庫40 -The Sho あしたを書く」(赤レンガ倉庫、横浜、神奈川)

2011年 「第5回 天作会-井上有一に捧ぐ書の解放展-」(三鷹市芸術文化センター、東京)
「書の交差展2011」(Galleryやさしい予感、東京)

2009年 「文字区2009」(東京芸術劇場、東京)
「第4回 天作会-井上有一に捧ぐ書の解放展-」(三鷹市芸術文化センター、東京)

2007年 「文字区2007」(東京芸術劇場、東京)

2006年 「第3回 天作会-井上有一に捧ぐ書の解放展-」(三鷹市芸術文化センター、東京)

2005年 「第2回 天作会-井上有一に捧ぐ書の解放展-」(目黒区美術館、東京)

2004年 「第1回 天作会-井上有一に捧ぐ書の解放展-」(目黒区美術館、東京)



- 1997年 個展「居留守で住人不在展」(アートミュージアムメッセ、東京)
1996年 個展「メモ」(アートミュージアムメッセ、東京)

宮村弦 Gen Miyamura

1980年 静岡県に生まれる

主な展覧会

- 2018年 第71回企画展「宮村弦-モールス・コード-新しい言葉の(カタチ)」(島田市博物館、静岡)
2017年 「現代アート書道の世界」(新宿高島屋美術画廊、東京)
「書の未来展」(伊藤忠青山アートスクエア、東京)
「TOKYO 書2017」(東京都美術館、東京)
2014年 個展「宮村弦→'14」(エマギャラリー、静岡)
2013年 第2回都美セレクショングループ展「書の予兆-墨象の現時代-」(東京都美術館ギャラリーB、東京)
2012年 個展「IMAGE LANGUAGE: linear code」(ICN gallery, ロンドン、英国)
「アートに見る「ミーム」-書・版画・日本画に見る伝統、技術、現代性の探求-」(渋谷ヒカリエ、東京)
2011年 「FANATIC MONOCHROME」(大阪成蹊大学芸術学部 長岡京キャンパス《spaceB》、京都)
「横浜赤レンガ倉庫・20 -次元を超えて-」(横浜赤レンガ倉庫、横浜、神奈川)
「+81 Gallery + Lab The first anniversary exhibition」(+81 Gallery + Lab, 東京)
2010年 「第7回 食とアートの会」(by +art club)(Restaurant I, 東京)
個展「宮村弦 イメージラング -未解文字の墨惑-」(CCC 静岡、静岡)
「Shun Kawakami + Gen Miyamura (2 man show)」(+81 Gallery + Lab, 東京)
個展「GEN MIYAMURA NEW WORKS 2010」(SferaExhibition 京都 & SferaShop 東京)

<http://gen-m.jp/works/>

矢野童観 Doukan Yano

1968年 秋田県に生まれる

2010年 書道家武田双雲に師事、ふたば書道会に所属

主な展覧会

- 2019年 「ART SHODO FESTA」(三鷹市芸術文化センター、東京)
「ART SHODO AWARD」(O美術館、東京)
2018年 「ART SHODO NOW-書道の新たな展開-」(ギャラリーNOW、富山)
「ART SHODO TOKYO AUTUMN 2018」(三鷹市芸術文化センター、東京)
2017年 個展 童観's BAR(曙橋 NONFINITO、東京)
2016年 グループ展「CHAOS (カオス)」(横浜、神奈川)
2015年 グループ展「CHAOS (カオス)」(銀座、東京)
<https://doukanyano.wixsite.com/sho-do-can/doukan>

山本尚志 Hisashi Yamamoto

1969年 広島県に生まれる

主な展覧会

- 2019年 個展「入口と出口とフタと底」(Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku、東京)
2018年 個展「マド」(PLACE by method、東京)
「ART SHODO TOKYO AUTUMN 2018」(三鷹市芸術文化センター、東京)出展、キュレーション
個展「トリプルタワー」(TMMT、東京)
「ART SHODO TOKYO SPRING 2018」(三鷹市芸術文化センター、東京)出展、キュレーション
2017年 個展「ドアと光と音とガラスと水」(gallery feel art zero、名古屋)
個展「バッジとタオルと段ボール」(Bギャラリー、東京)



個展「Speech balloon」(ギャラリーNOW、富山)

「現代アート書道の世界」(新宿高島屋美術画廊、東京)出展、キュレーション

「書の未来展」(伊藤忠青山アートスクエア、東京)出展、キュレーション

二人展「poison and small huts」(Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku、東京)出展、キュレーション

2016年 個展「flying saucer」(Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku、東京)

2015年 個展「マシーン」(ギャラリーメタノイア、パリ/ウナックサロン、東京)

2014年 個展「タワー」(下北アートスペース、東京/アートフォーラムJARFO、京都)

2013年 日・中現代精鋭書画家展「書と非書の際(きわ)」(京都文化博物館、京都)

2011年～現在 作品ブログ「デイリー書道」に参加

2010年 一人快芸術(広島市現代美術館、広島)

2009年～現在 文字区(東京芸術劇場ほか)

2008年 ソウル書芸ビエンナーレ(ソウル)

2006年 世界書芸祝祭(ソウル)

2004年～現在 「天作会-井上有一に捧ぐ書の解放展-

1991年 ウナックトウキョウにて井上有一カタログレゾネのための作品整理に携わる。

<http://ycassociates.co.jp/artists/2019/03/20/232/>

■関連情報(展覧会)

「現代書の新しき展望 -Contemporary Art SHODO-」

会期：2020年2月27日(木) - 3月4日(水)

会場：福屋八丁堀本店7階美術画廊

〒730-0021 広島県広島市中区胡町6-26

TEL: 082-246-6111 (代表)

www.fukuya-dept.co.jp/honten/garo/

「What's SHODO?」

会期：2020年3月10日(火) - 3月26日(木)

会場：MARUEIDO JAPAN / Gallery

〒107-0052 東京都港区赤坂2-23-1 アークヒルズフロントタワー1F

TEL: 03-5797-7040

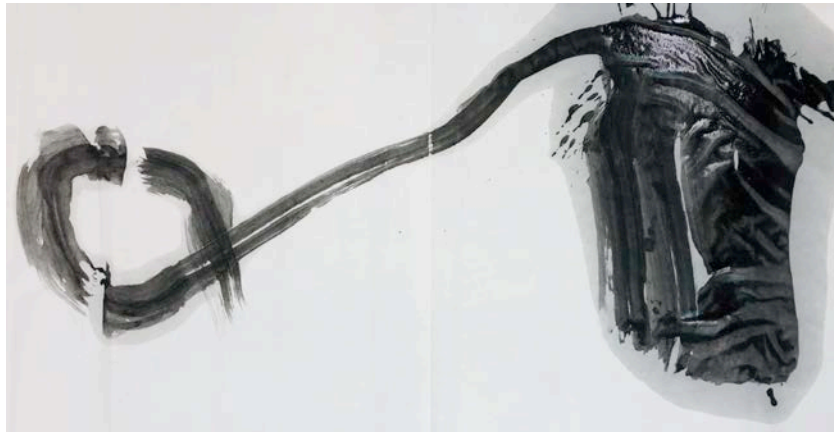
www.marueidojapan.com



Gender~quota system~, 2020 ©Haru Yamaguchi, Courtesy of Yumiko Chiba Associates



プリンずくい, 2019 ©Hisashi Yamamoto, Courtesy of Yumiko Chiba Associates



fa-RU, 2019 ©Mayuka Kobayashi, Courtesy of Yumiko Chiba Associates



強大な5つの上とその他の上と下, 2020 ©Doukan Yano

【本展に関するお問合せ】 ぜひ貴社にて御紹介くださいますようお願い申し上げます。画像データの御依頼等は下記までご連絡下さい。
ユミコチバアソシエイツ オフィス
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 4-32-6 パークグレース新宿#205 [Tel] 03-6276-6731 [e-mail] info@ycassociates.co.jp
[website] www.ycassociates.co.jp [営業時間] 12:00-19:00 [定休日] 日・月・祝日